



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東
コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂
問合せ先責任者(役職名) 経営企画室室長 (氏名) 高根 生吹 (TEL) 080 (7027) 0983
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	14,946	14.2	2,979	49.8	2,981	50.6	1,859	41.2
2024年12月期第3四半期	13,091	△3.4	1,989	14.3	1,979	9.4	1,316	△4.4

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,952百万円(40.8%) 2024年12月期第3四半期 1,386百万円(66.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	49.14	—
2024年12月期第3四半期	34.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	21,943	10,689	45.5	263.79
2024年12月期	18,465	8,970	45.4	221.93

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 9,990百万円 2024年12月期 8,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
配当予想の修正については、本日発表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	12.7	3,600	39.6	3,464	35.2	1,562	2.5	41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) 株式会社デコルテ・ホールディングス 除外 1社 (社名) 株式会社GROWBING

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	42,000,000株	2024年12月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	4,128,406株	2024年12月期	4,212,206株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	37,837,023株	2024年12月期 3 Q	37,985,244株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信 (添付資料) P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は2025年11月17日 (月) に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。なお、決算補足説明資料については、本日当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要の継続などにより一部で回復の動きがみられるものの、物価上昇に伴う個人消費の低迷などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、構造的な課題である少子高齢化の進行や労働力人口の減少、ならびに国内の婚姻件数の減少傾向は依然として継続しており、結婚を取り巻く社会環境はますます厳しさを増しております。

婚活市場においては、マッチングアプリの利用拡大が続く一方で、利用者の増加によるマッチング効率の低下や、なりすまし・詐欺といったトラブルの深刻化が顕著となっており、安心・安全な婚活サービスへのニーズが一段と高まっております。これに伴い、結婚相談所業界では、各種証明書の提出による信頼性の確保や、カウンセラーによるきめ細やかなサポートの充実、婚活プロセス全体の質的向上が強く求められております。

また、少子化対策および地域活性化を目的とした官民連携の取り組みも全国的に広がりを見せており、自治体や地元企業との連携による地域密着型の婚活支援施策の実施件数も増加傾向にあります。

このような状況のもと、国内外の経済活動の影響を少なからず受けておりますが、当社グループにおきましても更なる事業規模拡大を目的とした知名度向上や、国策の一助となるべく様々な施策を講じ、中期経営計画(2021年1月～2027年12月)である「成婚組数2万組」「加盟相談所数7千社」「IBJ課金会員数14万人」の達成に向けて、引き続き業容の拡大と企業価値の向上に取り組んでおります。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,946,751千円(前年同期比14.2%増)、営業利益は2,979,982千円(同49.8%増)、経常利益は2,981,046千円(同50.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,859,416千円(同41.2%増)となりました。

各セグメントの売上高及び事業利益は以下のとおりであります。

当社グループの報告セグメントは、第1四半期連結会計期間より、新たに「K Village事業」を追加しております。これは、ライフデザイン事業内の趣味・コミュニティ事業における株式会社K Villageの事業規模が拡大していることを踏まえ、当該事業を従来の「ライフデザイン事業」から独立させることにより経営管理を一層強化し、セグメントを明瞭化することができると判断したためです。以下の前年同期比較については、前年四半期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

なお、事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております(内部取引調整済み)。

(加盟店事業)

加盟店事業は、当第3四半期連結会計期間において、開業支援事業では値上げによる開業件数の鈍化が一巡し、組織体制の見直し、および増員を行ったことにより、開業件数は253件(前年同期比2.0%増)と堅調に推移しております。

また、加盟店事業については、開業加盟金の値上げにより引き続き活動意欲の高い新規加盟店が増加しているほか、タメニー社との資本業務提携の効果もあり、新規入会者数は13,853名(同22.0%増)と増加しました。これに伴い、IBJ課金会員数は68,323名(同61.3%増)と好調に推移し、プラットフォーム内での会員活動も活発化したことで、お見合い件数は182,237件(同27.2%増)と引き続き顕著な伸びを示しています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、セグメント売上高は2,809,732千円(前年同期比13.6%増)、事業利益は1,915,174千円(同14.8%増)となりました。

(直営店事業)

直営店事業は、当第3四半期連結会計期間において、IBJメンバーズおよびサンマリエでは、引き続きIBJ Matching(婚活パーティー)との連携強化を進め、ZWEIでは、マスメディア広告をはじめとするマーケティング戦略の強化により、新規入会者数は6,426名(前年同期比10.6%増)と増加しました。これに伴い、お見合い件数も90,293件(同4.0%増)と堅調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、セグメント売上高は7,041,275千円(前年同期比5.1%増)、事業利益は1,749,193千円(同17.9%増)となりました。

(マッチング事業)

マッチング事業は、当第3四半期連結会計期間において、大手メディアでの露出効果もあり、動員数は91,179名（前年同期比11.0%増）と増加しました。今後はマーケティング部と連携し、運営サイトの強化を図るほか、店舗型婚活パーティー以外の新たな開催形態にも着手することで、幅広いニーズを持つ顧客の獲得を進めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、セグメント売上高は1,166,531千円（前年同期比5.0%減）、事業利益は271,373千円（同48.3%増）となりました。

(ライフデザイン事業)

ライフデザイン事業は、当第3四半期連結会計期間において、結婚相談所事業での成婚組数の増加に伴い、サービス利用者が順調に増加していることに加え、サンマリエおよびZWEIの直営店事業との連携を強化することでウエディング成約件数は421件（前年同期比73.3%増）、保険成約件数も631件（同93.0%増）と引き続き急速に伸長しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、セグメント売上高は1,518,713千円（前年同期比116.4%増）、事業利益は571,870千円（同183.4%増）となりました。

(K Village事業)

K Village事業は、当第3四半期連結会計期間において、韓国事業では講師のスキル向上に注力した結果、退校抑止につながり生徒数は16,450名（前年同期比14.1%増）に増加しております。

また、音楽事業については、生徒数が8,817名（同97.1%増）、FC校舎数94社（同95.8%増）と大幅に増加しております。これは、ボイストレーニングなどを提供するナユタスで、フランチャイズビジネスに注力し、開業前から各FC店舗に対して研修を行うなど手厚いサポートを行っていることが要因です。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、セグメント売上高は2,410,498千円（前年同期比21.2%増）、事業利益は363,201千円（同34.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,822,997千円となり、前連結会計年度末に比べ904,397千円増加しました。これは主に、営業投資有価証券が1,238,890千円増加した一方、現金及び預金が194,603千円、預け金が109,459千円減少したためです。固定資産は12,120,600千円となり、前連結会計年度末に比べ2,573,569千円増加しました。これは主に、投資有価証券が1,474,952千円、のれんが657,457千円、差入保証金が434,431千円、建物が69,068千円増加した一方、繰延税金資産が107,656千円減少したためです。

この結果、総資産は21,943,597千円となり、前連結会計年度末に比べ3,477,966千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,302,275千円となり、前連結会計年度末に比べ2,081,299千円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が889,822千円、短期借入金が750,000千円、未払法人税等が162,619千円増加したためです。固定負債は3,952,131千円となり、前連結会計年度末に比べ322,242千円減少しました。これは主に、資産除去債務が52,377千円増加した一方、長期借入金が373,551千円減少したためです。

この結果、負債合計は11,254,407千円となり、前連結会計年度末に比べ1,759,057千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は10,689,190千円となり、前連結会計年度末に比べ1,718,908千円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,557,114千円増加したためです。

この結果、自己資本比率は45.5%（前連結会計年度末は45.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,198,305	4,003,702
売掛金	1,904,190	1,837,564
営業投資有価証券	2,139,445	3,378,336
商品及び製品	10,448	14,672
原材料及び貯蔵品	2,105	4,785
前渡金	26,390	8,443
前払費用	372,840	434,584
1年内回収予定の長期貸付金	1,999	5,499
預け金	190,910	81,450
その他	92,594	80,485
貸倒引当金	△20,631	△26,527
流動資産合計	8,918,600	9,822,997
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,442,154	2,632,424
減価償却累計額	△1,127,589	△1,248,790
建物（純額）	1,314,564	1,383,633
車両運搬具	31,426	31,576
減価償却累計額	△8,488	△14,774
車両運搬具（純額）	22,938	16,802
工具、器具及び備品	611,349	627,707
減価償却累計額	△546,514	△538,216
工具、器具及び備品（純額）	64,834	89,490
土地	1,538,479	1,553,149
リース資産	43,229	43,967
減価償却累計額	△30,827	△35,007
リース資産（純額）	12,401	8,960
有形固定資産合計	2,953,219	3,052,036
無形固定資産		
のれん	1,320,307	1,977,764
ソフトウェア	969,167	901,257
ソフトウェア仮勘定	11,151	61,300
商標権	-	59
その他	19,982	14,772
無形固定資産合計	2,320,608	2,955,155
投資その他の資産		
投資有価証券	1,604,165	3,079,118
長期前払費用	146,644	161,952
長期貸付金	833	16,000
繰延税金資産	644,436	536,779
保険積立金	279,309	287,310
差入保証金	1,591,125	2,025,556
その他	6,690	6,690
投資その他の資産合計	4,273,203	6,113,408
固定資産合計	9,547,030	12,120,600
資産合計	18,465,631	21,943,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	281,764	133,703
短期借入金	1,160,000	1,910,000
1年内返済予定の長期借入金	468,198	1,358,020
未払金	748,974	704,291
未払費用	841,468	471,755
未払法人税等	400,819	563,439
未払消費税等	312,390	263,200
前受金	649,637	609,312
リース債務	6,847	4,806
賞与引当金	-	163,808
その他	350,875	1,119,939
流動負債合計	5,220,976	7,302,275
固定負債		
長期借入金	3,537,516	3,163,965
リース債務	5,064	4,388
資産除去債務	718,664	771,041
その他	13,129	12,736
固定負債合計	4,274,373	3,952,131
負債合計	9,495,349	11,254,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	929,640	937,276
利益剰余金	9,272,311	10,829,425
自己株式	△2,436,380	△2,384,213
株主資本合計	8,465,156	10,082,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△78,980	△91,823
その他の包括利益累計額合計	△78,980	△91,823
新株予約権	37,512	46,655
非支配株主持分	546,592	652,285
純資産合計	8,970,281	10,689,190
負債純資産合計	18,465,631	21,943,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,091,904	14,946,751
売上原価	909,023	1,148,039
売上総利益	12,182,880	13,798,712
販売費及び一般管理費	10,193,549	10,818,730
営業利益	1,989,331	2,979,982
営業外収益		
受取利息	327	5,128
補助金収入	882	9,755
持分法による投資利益	-	79,841
その他	6,370	5,544
営業外収益合計	7,580	100,270
営業外費用		
支払利息	15,074	33,289
有価証券評価損	-	60,737
支払手数料	1,779	-
その他	381	5,178
営業外費用合計	17,234	99,205
経常利益	1,979,676	2,981,046
特別利益		
固定資産売却益	1,591	-
資産除去債務戻入益	-	647
新株予約権戻入益	82,210	-
特別利益合計	83,801	647
特別損失		
固定資産除却損	0	18,920
投資有価証券売却損	23,548	-
その他	-	1,653
特別損失合計	23,548	20,573
税金等調整前四半期純利益	2,039,930	2,961,120
法人税、住民税及び事業税	585,541	885,178
法人税等調整額	63,256	110,833
法人税等合計	648,798	996,012
四半期純利益	1,391,131	1,965,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	74,262	105,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,316,868	1,859,416

四半期連結包括利益計算書

第3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,391,131	1,965,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,298	△12,843
その他の包括利益合計	△4,298	△12,843
四半期包括利益	1,386,832	1,952,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,312,570	1,846,573
非支配株主に係る四半期包括利益	74,262	105,692

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	428,866千円	451,265千円
のれん償却額	124,076	155,164

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザ イン事業	K Village 事業	計		
売上高								
一時点で移転 されるサービス	1,492,336	2,287,333	707,131	423,956	612,615	5,523,373	—	5,523,373
一定の期間に わたり移転さ れるサービス	980,555	4,412,555	521,323	132,034	1,376,190	7,422,659	—	7,422,659
顧客との契約 から生じる収 益	2,472,892	6,699,888	1,228,455	555,991	1,988,805	12,946,033	—	12,946,033
その他の収益	—	—	—	145,871	—	145,871	—	145,871
外部顧客への 売上高	2,472,892	6,699,888	1,228,455	701,862	1,988,805	13,091,904	—	13,091,904
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	109,969	38,614	66,641	338	—	215,564	△215,564	—
計	2,582,862	6,738,502	1,295,096	702,200	1,988,805	13,307,468	△215,564	13,091,904
セグメント利益	1,632,186	1,247,090	118,448	156,893	211,567	3,366,185	△1,376,853	1,989,331

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加盟店事業	直営店事業	マッチング 事業	ライフデザ イン事業	K Village 事業	計		
売上高								
一時点で移転 されるサービス	1,500,405	2,328,692	717,245	1,046,502	658,705	6,251,551	—	6,251,551
一定の期間に わたり移転さ れるサービス	1,309,326	4,712,582	449,286	177,521	1,751,793	8,400,510	—	8,400,510
顧客との契約 から生じる収 益	2,809,732	7,041,275	1,166,531	1,224,023	2,410,498	14,652,061	—	14,652,061
その他の収益	—	—	—	294,689	—	294,689	—	294,689
外部顧客への 売上高	2,809,732	7,041,275	1,166,531	1,518,713	2,410,498	14,946,751	—	14,946,751
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	138,553	42,014	76,320	13,076	—	269,964	△269,964	—
計	2,948,285	7,083,289	1,242,851	1,531,789	2,410,498	15,216,715	△269,964	14,946,751
セグメント利益	1,873,741	1,506,186	209,296	481,399	300,664	4,371,289	△1,391,306	2,979,982

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式取得に伴い株式会社GROWBINGを連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、「ライフデザイン事業」セグメントで812,621千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、第1四半期連結会計期間より、新たに「K Village事業」を追加しております。これは、ライフデザイン事業内の趣味・コミュニティ事業における株式会社K Villageの事業規模が拡大していることを踏まえ、当該事業を従来の「ライフデザイン事業」から独立させることにより経営管理を一層強化し、セグメントを明瞭化することができると判断したためです。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。